

学力向上に効果のある取組事例

玖珠町立北山田小学校

③主体的に学習に取り組む態度の涵養

取組の具体①

◆主体的に学習に取り組む姿勢を育む取り組み

本校では、児童が自ら学びに向かう姿勢を育むことを重視し、日々の授業や学校生活の中で以下のような工夫を凝らしています。

○【系統的な学習サイクルの確立】

授業では、まず目標である「めあて」を明確にし、授業後にはその「めあて」に沿って振り返る時間を設けている。➡児童は自分の成長や理解度を自覚することができる。

授業中・ドリルタイム・宿題という3つの段階で習熟度を確認し、未定着な内容は「その日のうちに指導」する「北山田小学習の定着を図るシステム」に取り組んでいる。

○【主体性を引き出すための活動】

授業中の「振り返り」を通して、児童自身が疑問点を自覚し、積極的に質問して解決する機会を設けている。また、ペアやグループでの活動を取り入れ、自分の考えを交流し、深め合うことで、多様な視点から学ぶことを促している。

○【学習規律の徹底】

「のびよう北っ子の約束」という全校共通の学習規律を全教室前方に掲げ、「よい姿勢を保つ」「はっきりした声で返事をする」といった基本的な態度を徹底することで、主体的な学習の土台を築いている。

のびよう北っ子の約束

1. いすにきちんとこしかけ、よい姿勢をたもつ。
2. こいねま・赤青鉛筆・よく通える消しゴム・正に造・じょうぎを使う。
3. 「授業中」は、指名されたらはっきりした声で、「はい」と1回だけ返事をする。
4. はっきりした声で、さいごまでしっかり読む。
5. ていねいな文字でノートにきちんと書く。
6. 5分休みに次の学習の準備をし、授業の始まりの時間を守る。
7. 「授業中」、勝手なおしゃべりはせず、前席いっぱいがんばる。



取組の具体②

◆学力向上を支える環境と連携体制

児童が安心して学習に集中できる環境を整え、学校全体で学力向上を支える体制の構築。

○【学習時間の確保】

授業以外に、週3回「ドリルタイム」。ここでは授業と連動したプリント学習や、漢字スキル、宿題のやり直しなどを行い、基礎学力の定着を図っている。

○【外部との連携】

既習内容の復習を目的とした「寺子屋」と連携し、系統的なプリント学習。また、PTA研修部による「親子読書」の取り組みも実施し、家庭での学習習慣定着につなげている。

○【学習成果の可視化】

各学年の学習成果物を校内掲示板に定期的に掲示し、他の学年の児童や来校した保護者、地域の方々に学習の様子を見てもらう機会を設けている。これは、児童のモチベーション向上にもつながっている。

○【ICT (chromebook) の利活用】

1人1台端末の学習ツールとしての利活用。他人参照や振り返りの蓄積、いつでも見返せるや参照できる（共有）ツールとして活用。

➡協働的・対話的に学ぶ場により学習が深まる。

